

※ 外部意見の反映

幕別町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検 及び評価の報告書に対する主な意見

本報告書を作成するにあたり、点検及び評価の客観性を確保する観点から、知見の活用として町長部局の部長職等から聴取した主な意見は次のとおりである。

	ご意見	意見に対する町教委の考え方
1	《「第1章 教育委員会の活動状況等」について》 ①「活動状況」には、活動内容（何をしたか）に加えて、その年度における活動の結果、あるいは成果（どうなったか）についても示すべきではないか。（結果として報告できるものがある場合に限ってでよい） ②「活動状況」には、その年度の活動の重点を設定すると言うのはどうか。全ての項目について充実を図ることが理想だが、その年度に特に重点的に取り組む項目が設定されれば年間を通して意識付けが図られ、内容のさらなる充実につながるのではないかとと思われる。	活動状況の内容充実について、より良い方法を検討してまいります。

	ご意見	意見に対する町教委の考え方
2	《「第2章 第6期幕別町総合計画の基本計画に基づく評価」について》 ①整理番号 5、11 【学習プログラムの充実】 【学習・活動機会の充実】 (1)整理番号 5 と 11 は 11 に統合できないか？ ② 整理番号 20、26 【小中学校教育の充実】 (1)「全国学力・学習状況調査における「地域や社会を良くするために、何をすべきか考えることがありますか」の問いに対し、肯定的な回答をした児童生徒の割合が低いことから、「生きる力を育む創意ある教育活動」のさらなる創意工夫が必要と思います。 ③ 整理番号32 【小中学校教育の充実】 (1)初年度ということもあり、CS毎の取組等の記載を希望。 ④整理番号 36 【高等学校教育・特別支援学校の支援】 (1)施策の方向にある「義務教育課程との連携」について、今後の対応を記載すべきと考えます。 ⑤整理番号 38 【青少年の健全育成】 (1)「学び隊」のボランティア講師に地域の方や高校生を採用するなどの検討をお願いします。 ⑥整理番号 40 【青少年の健全育成】 (1)「地域学校協働活動の推進」について、「CS との効果的な連携」についても記載すべきと考えます。	点検・評価書の主要施策は、第6期幕別町総合計画を基本として策定した第6次幕別町生涯学習中期計画の方策の項目としていることから、内容的に重複する部分があり、再掲しております。 今後の対応として、「9年間を見通した創意ある教育課程」の中で生きる力を育む教育を工夫して編成してまいります。 「現状と成果」と「今後の課題」の欄に各学園の活動状況と課題について追記します。 「現状と成果」の欄に「また、平成31年度から学校運営協議会を設置し、小中学校代表が協議会に参加するとともに、清陵高校として、学校開放講座やオープンスクール等、地域や義務教育課程との連携を図った。」「今後の対応」の欄に「また、今後においても、地域や義務教育課程との連携を図っていく。」を追記しました。 地域の方々のほか、帯広大谷短期大学生の協力もいただき事業を進めておりますが、今後、清陵高等学校との事業協力について協議してまいります。 令和3年度に向けてより良い連携方策について検討してまいります。

	ご意見	意見に対する町教委の考え方
	⑦整理番号 44 【芸術・文化鑑賞機会の拡充】 (1)関係する事業として「まくバス d e 映画会」もあるのではないのでしょうか。 ⑧整理番号 47 【歴史的文化の保存・継承と活用】 (1)「歴史の散歩道の活用」事業に、AR の活用も記載すべきではないのでしょうか。 ⑨整理番号 52 【スポーツ・レクリエーション活動の推進】 (1)スポーツ合宿のピッチングマシン等を担当者や関係団体頼みは、長続きしないので、予算の確保を。大会誘致でも、札内スポーツセンターの多目的トイレの増設等設備投資が必要。 (2)スポーツを核とした地域づくりを一層推進するため、トップ選手の育成だけでなく、あらゆる年代層の住民がスポーツに親しむことができる環境整備をお願いします。 （例えば、学校体育施設や、スポセン・トレセンのアリーナの一部をフリースペースとして常時開放し、用具がなくても気軽にスポーツを楽しめるように、ボールや卓球・バドミントンなどの軽スポーツ用具を住民からの寄附により揃えるなど。） ⑩整理番号 54 【指導者・組織の育成と支援】 (1)指導者にメンタル面のケアの研修機会は重要と思われます。継続的な取組も必要と思われます。	「まくバス d e 映画会」は、図書館で実施している事業ですので、「さつバス d e 映画会」と併せ、主要施策にある「図書館機能の拡充」（整理番号 15）の評価指標、実績データに加え、点検・管理してまいります。 「歴史の散歩道の活用」事業の「現状と成果」の欄に、「また、図書館の協力により、AR（現実拡張）を活用しより多くの情報を提供することができた。」を追記しました。 スポーツ合宿の受入に向けて、受入団体のニーズを把握し、計画的な施設整備を進めていきます。 あらゆる年代の方が気軽にスポーツに親しむことができるよう、スポーツ施設の利用方法の見直しなどの工夫を検討していきます。 指導者が抱える課題を把握し、その課題にあった研修会を引き続き開催していきます。また、指導者だけでなく、保護者や関係者にも同じく共有できるように参加を呼びかけていきます。

	ご意見	意見に対する町教委の考え方
	⑪ 達成目標、取組の概要、目標の達成状況、「自己評価」、「今後の方向性」の順になると見やすいのではないか。（事業の推進状況だけでは内容が薄い） また、「点検項目」及び「自己評価」などと点検と評価の文言が必要なるかと思います。 ⑫ 「今後の課題」は必ずあるべきなのか。前年度の結果に基づく取組によって解決されたものがあってしかるべきであり、そうでなければならぬだろう。したがって課題の欄が空欄になっているところがあってよい。（必ず課題を示さなければならないということではないのでは）※前年度の課題が解決されて新たな課題を示すということであれば、それなりの示し方をすべき。	点検評価の目標設定の明確化など、掲載内容について、より良い方法を検討してまいります。

	ご意見	意見に対する町教委の考え方
3	【その他】 ①様々な年代層の住民が、知の拠点である図書館に足を運びたいとなる仕掛け作りを今後も期待しています。 ②コミュニティ・スクールの成功は、「地域」をどう巻き込んでいくかがポイントになります。各学園単位での地域における特色ある教育活動や子どもの見守り支援策の取組を広報で紹介するなど一層の周知に努めて欲しい。 ③学校給食の食べ残しが相当多いと伺っています。実態把握と対策について検討をお願いします。	今後も様々な年代・立場の地域の方々に集っていただけるような事業・イベントを行ってまいります。 各学園の取組について広報を活用するなど、広く周知してまいります。 食べ残しに関しては、毎日の残食量を主食、副食、汁物に分け把握しているところであり、残食量の約半数が主食のご飯が占めている状況にあります。 今後は主食のご飯の量の調整や栄養教諭による学校訪問を実施した中で、給食の盛り方等を児童生徒へ指導することを計画しており、残食を減らす取組を行ってまいります。